村報
# もろつか
発行所　諸塚村役場
宮崎県東臼杵郡諸塚村
TEL (0982)(5)1111番
印刷所　藤屋写真印刷㈱
日向市本町7番13号
TEL (0982)(52)1119番

（写真は、諸塚小学校で撮影）

## 紅葉

紅葉は「もみじ」とも「コウヨウ」とも読めますが、木の葉の色が赤や黄色に変わることを指すときは「コウヨウ」と読むのが普通です。

日本は紅葉の美しい木だけでも百種類はあるといわれます。また、日本は季節の変化がはっきりしているので紅葉は鮮やかです。

日本人は昔から紅葉に親しんできました。伝説的にも春の花の神である佐保姫に対し、竜田姫（立田姫）という神が紅葉の神とされています。紅葉は万葉集でも読まれていますし、源氏物語にも「紅葉賀（もみじのが）」という巻があります。

いまでも紅葉見物は盛んで、特に北海道などでは視楓会と称して、長い冬を迎える前に紅葉を楽しむ習慣があります。

紅葉した森は、今流行の森林浴にも適しています。森林浴に効果があるといわれるフィトンチット（植物が発散する殺菌性を持った芳香物質）は、葉の組織が破壊されるとき、つまり、落葉の前に多く発散されるからです。

諸塚村でも、今、紅葉のまっさかり。十分楽しみましょう。

| 人口（10月1日現在） | | |
|---|---|---|
| 男 | 1,584 | （＋1） |
| 女 | 1,633 | （±0） |
| 計 | 3,217 | （＋1） |
| 世帯 | 940 | （－2） |

## 『現地情報』

### 1、間伐材を磨き丸太、焼きすぎ丸太に
……大径木育林の中間収入策……
（高千穂町）

高千穂町押方の農林家Eさんは、すぎの間伐材で「磨き丸太」と「焼きすぎ丸太」の加工技術を習得、一本五〇〇円程度の間伐材を床柱に加工、一五〇〇〇円程度の価値を生み出すことに成功した。

これは、十八年生以上の立木に千鳥模様の傷をつけると六～七年ほどで傷の部分がこぶ状に盛り上がる。これを伐採、皮をはぎ磨き上げればでき上がる。また、焼きすぎ丸太は、焼く前に表面をさまざまに削りとり、木目を強調するのが重要なコツである。

Eさんは、優良大径木を育てることが山に生きる男の夢で、間伐材加工はそれまでの中間収入の手だてとし、後継ぎが喜んで打ち込める農林業経営にしたいと取り組んでいる。

### 2、「プルーン」の栽培に成功
……町の特産品にと意欲的に取り組む……
（福岡県、三潴町）

三潴郡三潴町農協では、「プルーン」（アメリカすもも）を地域の振興作物として育成しようと、55年1月から同農協ほ場約10.aで試験栽培を続けてきたが、今年は、枝が折れるほど着果し注目を集めている。

同農協管内には、米、麦を中心にいちご、たまねぎなどを栽培しているが、ほかの特産品づくりを模索しているなかの一つとして、T組合長が、米国・カナダなど農業視察の折、カリフォルニアでの栽培ほ場をみて着目、導入したものである。また、指定試験栽培農家のほ場で苗木を栽培し、生産を行っている。

今回の成果で、振興作物への期待が高まり、転作作物として普及を図り、町の特産品にと意欲的に取り組んでいる。

◎この現地情報は、農林水産省統計情報組織において、最近の九州における農山漁村の動きを収集したものの一部です。みなさんの参考になればと、村報で随時、紹介していきたいと思います。

## 第六八九回共販速報
59・10・15

「国産材の利用推進」のキャッチフレーズのもと行われた記念市。今回共販は、多数の出材を得て、良材を中心に全落、初期の目的を果たした。一方、長崎など西九州地区で製品値上りの情報もあって、一部先行きに明るさも。

本表の標準樹令は特殊材を除き杉二五年松三〇年松三〇年。

| 樹種 | 規格 | 標準 | 安値 | 中値 | 高値 |
|---|---|---|---|---|---|
| スギ | 2m | 3～12 | 7,100 | 8,000 | 10,000 |
| | | 14～38 | 10,000 | 12,500 | 14,200 |
| | 3 | 3～10 | 14,100 | 14,500 | 15,200 |
| | | 11～13 | ―― | 16,000 | ―― |
| | | 14～16 | 21,800 | 23,700 | 27,800 |
| | | 18～28 | 22,700 | 24,200 | 24,900 |
| | | 30上 | 25,000 | 30,000 | 48,600 |
| | 4 | 6～10 | 19,400 | 19,800 | 20,700 |
| | | 11～14 | 22,600 | 24,100 | 24,400 |
| | | 16～28 | 23,500 | 25,300 | 25,700 |
| | | 24上 | 25,700 | 30,900 | 41,000 |
| | 6 | 14～16 | 26,600 | 26,800 | 27,000 |
| | | 30上 | 28,200 | 30,000 | 38,000 |
| ヒノキ | 3 | 14～16 | 43,000 | 45,200 | 47,000 |
| | | 18上 | 43,300 | 58,900 | 119,000 |
| | 4 | 14～16 | ―― | 56,000 | ―― |
| | | 18上 | 34,600 | 48,600 | 81,200 |
| | 6 | 14～16 | ―― | ―― | ―― |
| マツ | 4.2 | 16～28 | 23,500 | 25,000 | 27,300 |
| | | 30上 | 23,200 | 30,000 | 31,600 |
| | 5～6 | 18～22 | 35,600 | 39,800 | 89,000 |
| | | 24上 | 23,400 | 31,300 | 115,000 |
| キミツガ | 4 | 18～38 | 15,800 | 20,000 | 32,600 |
| | | 30上 | 40,000 | 40,000 | 50,000 |
| カラ | 4 | 18～38 | 27,900 | 35,000 | 50,000 |
| | | 30上 | ―― | 48,000 | ―― |
| サクラ | 4 | 18～28 | ―― | 53,300 | ―― |
| | | 30上 | ―― | 40,000 | ―― |
| ザツ | 4 | 18～38 | ―― | 15,000 | ―― |
| | | 30上 | ―― | 20,000 | ―― |

## 11月のこよみ

2日　バドミントン教室（立岩）
　　（以後毎週金曜）
5日　日向木材共販
　　椎茸シリーズ研修
　　（中央公民館）
6日　椿場品評会審査（～7日）
7日　家庭菜園品評会審査
　　SAP山林育成の集い
　　昭和60年度就学児検診
　　（～8日）
8日　消防部長研修（西郷村）
9日　移動公民館長会（小原井）
　　育林祭（小原井）
　　椿場巡回（～30日）
11日　村PTA研究大会（荒小）
　　職員採用統一試験（門川）
　　入郷地区バレーボール大会
　　（諸塚）
12日　成人大学（中公）
13日　県婦人体育大会（宮崎市）
　　子牛生産検査（～15日）
15日　新成人者の集い（中公）
　　文化祭出品物搬入
　　日向木材共販
17日　諸塚村文化祭（～18日）
18日　郡PTA研究大会（北方）
22日　消防部長会
　　消防初任科訓練
　　子牛セリ市（～24日）
24日　日向木材共販
26日　グリーンマイスター研修
　　（諸塚）
　　西部地区林研研修会
　　（中公、他）
27日　文化財調査
28日　青年教室
29日　消防ポンプ点検（～30日）
12月1日　椿場巡回（～10日）
2日　青年駅伝大会
3日　人権週間（～10日）
4日　子牛村品評会
5日　日向木材共販
8日　消防臨時点検

成人大学（中公）

# 諸塚北郷線県道昇格 促進期成同盟会発足！

諸塚村の南川林道を経由して北郷村の松が下を通り小原に通じる道路は、かねてから県道昇格の声が高く、その提言からはおよそ30年の歳月をついやしています。しかし、その実現へはなかなか進展せず、現在にいたっています。地元の声は、県道昇格へ高まる一方で、その早期実現が望まれています。

そこで、この早期実現をめざして両村の村長さんを初め、両村議会議員全員出席のもと、県道昇格への話し合いが、10月8日、ちょうど両村界となる吉野宮神社広場で開催されました。

黒木村議会議長の司会により議事は進められ、両村とも、その早期実現に対して積極的取り組みを行うということで意見が一致し、その場で、諸塚北郷線県道昇格促進期成同盟会が発足することがきまりました。

話し合いは、途中から期成同盟会の設立総会にきりかえられ会長に本村の甲斐村長、副会長に北郷村の宇津村長が選任され今後定期的に話し合いをもつことがきまりました。

当日は、地元住民の出席もあり、今後、県道昇格への早期実現に大きな期待をよせていました。

# 雨に流れた 村民体育大会

10月10日に村民グラウンドで開催された村民体育大会は、途中から雨のため中止となりました。

村民体育大会は、2年越しの開催で村民の皆さんの期待も大きかったのですが、朝方から降りだした雨は、願いもむなしく大会が始まったころから一層強くなり続行は無理との判断で中止となりました。

競技は、青年、小中学生の徒走、5000mが行なわれたのみの大会で残念でしたが、これも長い大会のうちのひとつの思い出として来年への活力としてもらいたいと思います。

大粒の雨の中。5000mのゴール。

小学生も一生懸命に力走
走るまでの待ち時間は、寒さでふるえが止まらない。

競技役員は、あくまでも真剣。

開会式も、テントの中で

# 名誉村民受賞御礼

古本　十三郎

昭和五九年九月十五日には村議会の決議により、不肖私は諸塚村名誉村民の称号を賜ることになり、その推戴式を挙行されまして誠に有難とうございました。謹しんで心から感謝致します。

私は明治二九年五月十六日生まれで、受賞当日で八八才四ケ月となり、この長い間諸塚村民の皆様方の御指導、御引立てに預りまして、村議会議員、村長県議会議員を務め、村や県の行財政を通算四六年間務めると共に農業協同組合、森林組合の理事、監事、組合長を務め、県や国の産業経済や各種団体の理事監事、その他の色々の団体に関係して務めて参りましたが、推戴式において村長さんより私の職歴については詳細に説明いただき、十月一日号の村報にも略歴が記載されておりましたので私は省略致しますが、私は大正十一年一月より地区の団体を初め、その後色々の団体の役職に務め通算六〇年の長期間務めさして頂きましたが、力が足りませんので特にこれと言う功績はあげ得ませんでしたが幸にして不都合な問題も起こさず務めて参りましたが、これも偏に村民の皆様方の御指導御鞭撻に依るものでございまして何と御礼を申し上げてよろしいのか感謝の言葉を言い尽す事もできないが事情御推察の上御海容ください ませ。

私はすでにこの礼状を書く時は八八才五ケ月を過ぎ老齢の関係もありまして能力も体力も衰えましたけれども、この世に生を受けて居ります以上は、僅かなりとも社会のために貢献したい希望を持っておりますので今後とも以前同様、御指導御鞭撻を賜りますよう謹んで御願いを申し上げますと同時に村民の皆様の御恩義に対しまして感謝申し上げます。

終りに当りまして、諸塚村が今後とも尚一層の御発展と村民御一同様の御幸福をお祈り申し上げまして御礼の言葉と致します。

# 婦人会役員 移動県民学校に参加

10月の18・19日の両日、婦協役員など18名が参加して移動県民学校が開設されました。

この移動県民学校というのは県の施設を見学して、県政に対しての理解を深めるためのものです。

両日とも、県のマイクロバスに乗って各施設を回ったわけですが、初日は、精神薄弱者総合福祉施設「南陽の里」、林業試験場、県庁舎の各施設を見学し国民宿舎「青島」に宿泊。二日目は、総合運動公園、学園都市建設現場、総合農業試験場などを見学しました。

どの施設でも、ていねいな説明を受け施設内を案内していただきました。ふだんでは見学できない所も多く、参加者は真剣な表情で説明を聞いていました。

総合運動公園内の日本庭園で

# きれいな村づくりのために……

## じん芥収集車購入

昭和59年度水力発電施設周辺地域交付金事業で、このたび、じん芥収集車と、道路整備のための2tダンプを購入しました。

特に、じん芥収集車は諸塚町附近のチリ収集に以前から要望があったものです。

村の美化衛生に、これから大きく活躍することでしょう。

じん芥収集車

# 〝あとで〟より〝いま〟が大切、火の始末

## 秋の全国火災予防運動

十一月二十六日から十二月二日までは、秋の全国火災予防運動が行われます。

冬を迎え、家族や職場では石油ストーブなどを使うことも多くなることと思います。

ストーブは、居間などで使うことが多いため、まわりに燃えやすいものがたくさんあります。そのため火を出すと燃え広がる危険性があります。

ストーブの上で干していた洗濯物が落ちて火災となった例や、まわりの燃えやすい物が過熱発火して火災となった例が多くみられます。ストーブを使うときは、取り扱い説明書をよく読んで、その器具特有の性質に注意してください。ストーブを使っている場所から長時間離れる場合は、いったんストーブを消しましょう。不意の地震に備えて耐震自動消火装置付きのストーブを使うことも大切です。

### お宅の椎茸乾燥機は大丈夫ですか？

本村では、ストーブ以上に怖いのが、椎茸乾燥機。ここ数年でも、本村内で、その火災の例がやの例は少なくないのです。そしてその原因は、乾燥機の不整備、乾燥機周辺の整理整頓のおこたりが主のようです。

もうすぐ椎茸の最盛期。今一度、椎茸乾燥機とその周辺を点検してください。そして取り扱いについても十分注意をしましょう。

# シートベルト着用率 63．8％

秋の全国交通安全運動の期間中に、シートベルト着用の街頭指導を行ないましたが、その結果は別図のとおりです。

街頭指導を終えて気づいた点として次のようなことがあげられます。

一、昨年同期間中に比べて、運転する人の着用率が著しく伸びた。（昨年同期間中の着用率は、15・6％）

二、村内の運転者は、着用率が良いように見受けられる。

三、女性の着用率が今一歩である。（当日は女性の未着用が男性に比べて多かった。）

四、車内で最も危険であるといわれる助手席の着用率が悪かった。（当日、19台中14台の助手席の人が未着用）

五、軽貨物の運転者の未着用がめだった。

今後も定期的にシートベルト着用の街頭指導を行ないますので御協力いただくとともに運転者も、同乗者もぜひシートベルトを着用するよう心がけてください。

（交通安全協会）（諸塚支部）

# 高血圧と食塩（6）

諸塚村国保病院長　金雄奎

9、高血圧の予防のためには、何よりも減塩が絶対必要である

食塩と高血圧は密接な関係があるし、食塩を過剰摂取することによって高血圧発生率が高くなるということも明らかである。から、高血圧の予防のためには、何よりもまず減塩という基本は守らなければならないのである。

まず、我々が常に心がけねばならないことは、第一に食塩を多量に摂取すれば高血圧の発生率が高く従って脳卒中などをおこす可能性も多い。第二には食塩を多量に摂取しても何ら影響を受けずに血圧も上らないまま長生きする人もいることはいるが、そういう人を的確に簡単に見分ける方法はない。第三には高血圧になりやすい遺伝素因の濃厚な人でも、食塩を減らしていけば、または初めから少量だけ取れば確かに高血圧にならないということである。だから誰でも高血圧になる前から食塩をへらして高血圧を予防するにこしたことはないのである。

10、減塩は子供の時から始めた方がよい

高血圧を予防するためには、子供の時から減塩を始めた方が一番よい。そのためには、その父母が食塩を減らして薄味の食事をするようにして子供たちに薄味になれるようにしてゆかなければいけない。大人になってから行うことは本当はむつかしいことであるが、子供のためを思って、また自分たちのために早く始めた方がよい。

大人たちも高血圧になる前にできるだけ早く始めた方がよいが、高血圧になった人は何よりも先に自分の血圧の治療のために減塩を行なわねばならない。食塩を減らさないで血圧の薬だけの切のは賢明な方法ではない。しかし、減塩を行う時に、一つ問題点があることはある。

それは急に減塩を行うと食事がまずくなり、それで航抗ができてしまうことである。三〇年も四〇年もかかって作り上げた高血圧を一日や二日で治そうとも知れない。だから急に減塩しないで徐々に少しづつ、段々と食塩をへらして、それに慣れて行くようにすれば、結構うまくなれて行くようになるものである。

（つづく）

昨年の文化祭から（日本談）

# ふるさとのたよりを！

今年も文化祭の案内ハガキをつくりました。村外の親戚の方や友だちに、ふるさとのたよりを添えて送ってください。

とりあえず全戸に一枚づつ配付しますが、もっとほしい方は各公民館長に余分をお願いしてありますので、もらってください。なお、役場企画課でも取り扱っておりますので、利用して下さい。

# 諸塚村の健康づくりについて

厚生省は健康の問題については、「国民一人一人が「自分の健康は自分で守る」という自覚と認識をもつことが何よりも重要であるとの観点にたち、昭和五三年度から国民健康づくり対策が推進されました。

つまり、栄養、生活物質、経済、ともに満たされ、医療技術や医療施設設備等も充実され、今や健康は自分でも守れる状態になり、また世界一の長寿国になった現代では健やかに老いること、健康の保持は重要な問題となってきており、このような状況から「自分の健康は自分で守る」というスローガンがでてきたのです。

この対策は生涯を通じて健康づくりの推進、健康づくりの啓蒙普及整備及び、健康づくりの基盤を3本柱として、体系的かつ計画的に推進されることとなっています。諸塚村においても健康づくり推進協議会が昭和五二年十月一日に発足し次のような健康づくり推進機構ができております。

（健康づくり推進機構）

この健康づくり推進機構を見ますとわかりますように、村内の住民一人一人が子供会、PTA、青年会、婦人会、青年会、公民館といずれかの団体に含まれています。健康づくり推進協議会は皆さん一人一人の健康に関する意見の集約の場であり、村長、日向保健所長をはじめとして各種団体の代表者が集まり、年に一～二回の会を開催して諸塚村の健康について話し合っております。昭和五十九年度におきましても、十月八日に話し合いを行ないました。今後とも皆さんの健康に関する話し合の場をもち、またいろいろな会合の場などを利用してどしどし御意見をお聞かせ下さい。そして地域ぐるみで本格的に地域にあった健康づくりに取り組んでいきましょう。

諸塚村の健康づくりスローガン

"みんなでとりくもう健康づくり。"

## ●あきかん募金をどうぞ!!

あきかん募金用ラベルを無料で差し上げます。机の中にたまっている1円玉や5円玉を共同募金に寄付しましょう。

役場内　社会福祉協議会にあります。

# 白色申告者の記帳制度

昭和五十九年度の税制改正により所得税法の一部が改正され事業所得等（事業所得、不動産所得、山林所得）のある人に対して記帳制度や記録保存制度、収支内訳書添付制度、総収入金額報告制度などが設けられました。

その制度のあらましを説明しましょう。

**1. 記帳制度**

昭和五十八年分又は昭和五十九年分の事業所得等の金額が三百万円を超える人（青色申告を除きます）は総収入金額や必要経費を記録し、その帳簿を七年間保存しなければならないこととされました。

（昭和五十八年分の所得が三百万円を超える人は昭和六十年一月一日から記録することになります。）

**2. 記録保存制度**

白色申告で事業所得等のある人は記帳制度の対象とならない人でも、昭和五十八年分の確定申告書を提出した人や昭和五十九年分の確定申告書又は総収入金額報告書を提出する人は、その業務に関して作成又は受領した帳簿書類等を五年間保存することとされました。

（昭和五十八年分の確定申告書を提出している人は、昭和六十年一月一日以後の取引から保存することになります。）

**3. 収支内訳書添付制度**

白色申告の事業所得者等が確定申告書を提出する場合、これらの所得に係る総収入金額や必要経費の内容を記載した書類を添付することとされました。

（昭和六十年一月一日以後に提出する昭和五十九年分確定申告書から添付することになります。）

**4. 総収入金額報告制度**

事業所得等の総収入金額の合計額が五千万円を超える人（確定申告書を提出した人を除きます。）は総収入金額などを記載した総収入金額報告書を翌年二月十五日までに税務署に提出することとされました。

（昭和五十九年分から適用になります。）

詳しくは、最寄りの税務署か税務相談室にお尋ねください。

延岡税務署（電話〇九八二―三三〇一）

**お知らせ**

延岡税務署では本年の税法改正により来年一月一日（一部の制度は昭和五十九年分所得税）から適用される白色申告者の記帳、記録保存制度に関する説明会を次のとおり行います。諸塚村の該当者は出席して下さい。

対象者　営業、農業、その他の事業、不動産、山林所得を有する所得税白色申告者

記

日時　十一月二十六日午前十時から十二時まで

場所　西郷村ふるさとホームセンター

## 下請取引適正化推進月間

# 正しい下請取引を行っていますか？

下請事業者の皆さん、親事業者から代金の支払いを遅らされたり、不当な値引きや買いたたきをされるなどの不利な取引条件を強いられたことはありませんか？

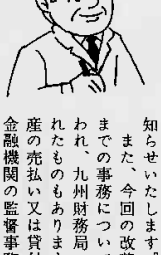
お問い合せ、御相談は

福岡通商産業局商工部　中小企業第二課

☎〇九二（四三一）一三〇一

公正取引委員会事務局　福岡地方事務所

☎〇九二（四三一）五八八一



## 年末資金のご案内

国民金融公庫延岡支店では年末資金の準備をして申込の受付を開始しております。

商品仕入、買掛金、手形決済資金、ボーナス資金などを必要とされる方は早目に公庫又は商工会へお気軽にご相談ください。

○融資の限度額　2100万円以内

○返済期間（ご希望により据置期間も設けられます）

運転資金

原則として5年以内

設備資金

原則として7年以内

○利　率　年7.9%

○ご利用いただける方

個人または法人で次のいずれかに該当する方

(1)資本金1000万円以下

(2)従業員　100人以下（商業サービス業の場合は50人以下）

詳しくは国民金融公庫延岡支店（電話0982―33―6311）へお問合せください。

# 大蔵省九州財務局宮崎財務部の機構改革に関するお知らせ

大蔵省九州財務局の「宮崎財務部」は機構改革により、本年十月一日から「宮崎財務事務所」として発足いたしましたのでお知らせいたします。

また、今回の改革によりこれまでの事務について見直しが行われ、九州財務局へ事務が移されたものもありますが、国有財産の売払い又は貸付けの事務、金融機関の監督事務、資金運用部資金の融資に関する事務などは引き続き新しい「宮崎財務事務所」において行っておりますので、併せてお知らせいたします。

なお、所在地及び電話番号は従来どおり（〒880　宮崎市橘通東三丁目一番二二号宮崎合同庁舎　電話〇九八五―二二一七―〇一）で変更はありません。

今後ともよろしく御理解と御支援を賜りますよう心からお願いいたします。

詳しくは当財務事務所の総務課へ御照会下さい。

# 年賀状で新年のごあいさつを

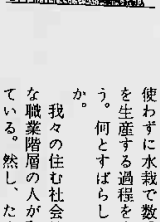
お正月に年賀状を交換する麗しい習わしは、近年ますます盛んになってまいりました。日頃お世話になっている方や、ごぶさたしている人へあいさつなど心と心を結ぶ大切なコミュニケーションの一つにもなっています。

十一月五日（月）から発売するお年玉つき年賀はがきの発売枚数は三十一億五千万枚です。このうち、二億四千万枚については、裏面に新年にふさわしい絵柄がカラー印刷されており、三円の寄附金を含めて四十五円で発売します。

なお、裏面の絵柄は、昨年同様全国版二種類のほか、発売地域が特定される地方版十二種類を発行することにしており、各郵便局の窓口では、三種類の絵入り年賀はがきが発売されます。

お年玉つき年賀はがきに付けられた寄附金は、がんの研究、治療のための機器設備やおとしよりのための施設等に役立てられています。

今年も、心のこもった美しく楽しい年賀状で、新年のごあいさつと社会福祉の増進等へのご協力をお願いいたします。



# お宅の電気設備は大丈夫ですか？

ご家庭や商店、工場などの電気設備は、財団法人九州電気保安協会が、九州電力から委託を受けて、二年に一回無料で調査を行っています。

お宅の電気設備の保安責任は、みなさんご自身にあります。そこで、電気知識や経験の少ないみなさんにかわって、九州電気保安協会の調査技師が、漏電火災や感電死傷のおそれがないかどうかを調べ、その結果不良箇所があれば修理をおすすめし、みなさんの保安責任を十分果たしていただくお手助けをするものです。

当協会の調査技師がお宅へお伺いしたときはご協力ください。

（財）九州電気保安協会

# 誇りあり明治調

藤本喜平

最早「明治は遠くなりにけり」と云う。なる程、通算すれば明治一一八年になる。然し明治維新は日本の夜明けを告げた画期的な英断であった。

今や世界の日本長寿も大いに誇ってよかろう。科学万能に近く驚くべき発達である。テレビを見ても本を読んでも分からない事が多い。どのような構成をすれば皆んなが笑ったり感心したり、ああそうかと頷ける画像が映れるか不思議でならない。今から十年も生き伸びたら想像もつかない進歩、変化に驚きと不安さえ覚える。

近く大阪での科学博には土を使わずに水栽で数千個のトマトを生産する過程を実験すると云う。何とすばらしいことだろうか。

我々の住む社会は、いろいろな職業階層の人が和やかに暮している。然し、たまには桁外れの英雄気取りで悪徳をする輩も居る。金に支配される誤った感覚である。如何に勝れた知恵であっても完全犯罪は覚束ない。

明治調の人は概ね純情な環境下に育ったから意外な犯罪は見当らない。

音の人芝居が大好きである。芝居の筋書は「善は栄え、悪は滅びる」を前提に脚本されている。従って似合の配役で構成きれる。やんやの喝采である。今のドラマは時代の流れを率直に演出しなければ視聴者が納得しないからである。我々は世代のすさんだ情景を始めて知る位いである。その背景には色々の要因があるだろう。売る為に書く週刊誌を見ても、ひんしゅくするような露骨大胆な描写である。

私は誇りある明治調を強調するけれども、只頑固なだけを礼讃するものではない。もうすぐ終着駅も近い、せめて信頼される程度に成長して行きたい。

そこで長い人生をふり返りながら是非を弁へ別冊にまとめることにした。又、座右銘として常に忘れない事にした事項は次のとおりである。

一、骨惜しみせず人の為にも働くこと。

一、或程度の粗食にも耐えること。

一、物の有難きを忘れず大切にすること。

一、上を見ず最低生活に甘ずること。

一、苦えあれば楽なしに徹すること。

一、礼節を知ること。

一、相手を抱ようする雅量を養うこと。

新聞の活字になるのは良い事か、又は悪い事のみである。休験は貴重なものではあるが、昔の手柄話や今時親孝行を持ち出してもソッポ向かれる。せめてスポーツか歌手か俳優の話なら若い人とも相槌が打てる。せめても健忘症にならない為にも汗馬に鞭打って頑張りたいものである。

# 県立高千穂高等職業訓練校見学に来ませんか。

昭和60年度の訓練生を広く募集するため、左記により訓練校見学を計画しています。

名称　県立高千穂高等職業訓練校見学

期間　昭和59年11月1日―11月30日（ただし土、日、祭日は除く）

時間　午後1時―3時

見学内容

電気工事科、建築科とも実習及び施設、その他

くわしくは　電話〇九八二七二・二三二〇へ

# 善意をありがとう

次の方々から、ご寄附をいただきました。厚く御礼を申しあげます。

ご寄附いただきましたお金はご意志に添うよう活用させていただきます。

**香典返し**

七ツ山　甲斐一二様（亡長男裕士様）、家代　黒木恵司様（亡父　智穆）、飯干　藤岡ハマヨ様（亡夫義一様）荒谷　菊池忠雄様（亡夫寿一様）

謹んで故人のご冥福をお祈り申しあげます。

諸塚村社会福祉協議会

# 田園ラッシュを歩く

木下正己

女房に急き立てられ、歩け歩こう運動を始めたのが、六月の初め頃である。

五月末に勤めを辞め、何やかやと家事も結構あるだろうに、じっとしていない質である。体が怠ってしまうから―」と、中々の手きびしさである。「どうせ三日坊主だろうから―」、そう思いながら、重い腰を上げ、それに随って歩き始めたのであった。

夕方、一時間の歩こう運動は、4キロから5キロ程度を目標とし、場合によっては遠回りコースで6キロに及ぶこともある。西日の暑さも、土砂降り以外の雨の日も傘をさして出かける。

「せいぜい十日も続けば上出来だろう」とタカをくくっていたのだが、あっと言う間に五ヶ月が過ぎてしまった。

大相撲秋場所の期間は、五日目頃から、すった、もんだ言ってきぼったのだが、女房は単身歩き続けるる。

つくしんぼ保育園の前を西へ500メートルも歩くと、愛宕山を背景に広々とした田んぼが一面に広がる、若葉町へ通ずる農道は、1.5キロの一直線コースと、右に迂回コースがあり、幅員3～4メートルの舗装農道である。車の通行も、さ程に多くはないので格好の運動コースである。

今年は史上最高の豊作とか、実りの稲穂にふれてみる、その黄金の波の辺りを足速にさわやかな汗を流して歩き、あるく、実に爽快である。五ヶ月掛りで自分のものにした感にでさえある。

この時刻になると、可なりスピードのある若者達のジョギング、マイペースの中年組、犬の運動がてらの人も多く、ふらり散歩の老夫婦、夕食後の散歩らしい家族連れ等、様々な30人程の人が行き交う。ちょっとした田園ラッシュである。揉揉を交わす朝なじみも幾人かいる。悪動きせられるのは、若い妊婦の連日の歩こう運動である。（もっとも、苔の生婦はタイヤでごしごし洗濯をし、カラウスを踏んでいたのだから―）。もう可なり大きい様だからお腹も間近であろう。

走ることが嫌より好きで、準しくて仕様がない、とうそぶく、この歌謡天野部は、黒葛原出身の春風和美くんである。

何時ぞやの村報で、「華に生きがいを、と豊くん」と題して紹介した、書道をやっている豊くんの兄の和美くんは、旭化成工科学校（旧日窒化学）を出ると同社に入社、23年項の社内運動会で、計らずも陸上競技部にスカウトされ、もっぱら短距離専門に走っていたが、職場対抗の駅伝大会が盛んになり、何時の間にか中距離ランナーとして出場する身となり、走るのがやたら面白く、県内は元より、天草マラソン、桜島マラソン、山本リンゲ七やないが、どこにも止まらない筆魁天マンとなってしまったのである。手にしたトロフィの優勝杯や賞の数は枕元にはくだるまい。市内鶴ヶ丘町、彼の邸宅の陳列棚に林立するトロフィは見事だ。

勤続39年のキャリアの彼も、しまれながら、56年に円満退職、桃衝系、7種の国家資格を、活用し、第二の人生も技術屋で、と意気込んでいた矢先き、知人の熱烈なスカウトに根負けし、鹿児島銀行延岡支店（中尖通り）に勤務している。人当りの良い彼の真面目さを買われたのであろう。この所、残業で走れない日もある――とボヤく彼だが、もう幾度となく、田園ラッシュで逢っているジョキング中の和美くんの顔は満面くすれで、これ又、どうにも止まらない感じでさえある。（和美くんには、ふるさとに妹の小川フクエ、同織生に佐藤収入役、九電の甲斐英男の皆さんがいる。）完

ゼッケン5561が森須君

# 田舎かたりべ（その一）

ごとうおさむ

村の習慣の違いや私の感違いの表現の点は、平にお許しの程をお願いします。

**食糧編**

※ **とうもろこしについて**

我々の幼少の頃は、とうもろこしのひき割り飯、粟飯、麦飯等の毎日だった。白米飯は旅に出る時の腰弁当か、外来者の投宿の残り物を食うかであった。そのとうもろこしは、盆頃から赤い「かもじ」が出始め、そろそろ実作りに入り柄丈も七尺を越すようになり、吹き渡る夏風に快い葉ずれの音を聞かせていたものである。それでも苗床のものは早やくも盆には実が出来ており、これを仏前に供えたものである。

とうもろこし畑は、とうもろこし一作だけを作るようなことはなかった。とうもろこしの下地には、小豆、大根が播き込まれており、小豆はとうもろこしより先に収穫されていたが、大根は、とうもろこしを取り柄切りが済み、後の麦作のため畑堀りがあってのち急激に大きくなり秋祭りなどの料理品になっていた。

さて収穫時のとうもろこしだが、台風でも来ぬ限り直立の柄に大きな実をつけていたが、その中に竹で横編みの、今でもまだ愛用しているようだが「カリイ」とツヅラで編んだ「手籠」を腰にして、取っては入れ、取っては入れ、重量感を身全体に感じながら家の土間にかるい「背負い」込んだものだった。実を取る時は良く出来たもの程「ポキッ」と云う高い音がして良品を感じさせ、気持ちの良いものであった。

夕方には、広い土間もとうもろこしの大山ができる。夕食もそこそこに、こんどはうす暗い照明の下での皮むきが始まる。ご苦労なことであったと思うが、遠くの人、近くの人でとうもろこし畑のない人達が加勢に足をはこんでくれたものである。沢山なとうもろこしの中には赤い実の物が相当あった。それをむきあてた子供は良く余興に「オメン」をして廻っていたようだが、その実はねむけざましであったような気がする。

むかれたとうもろこしは、実入りの良い物は除去し牛馬の飼料等にまわされたが、皮のついた食品は「ごぶりょう」葛かずらの丈夫なところでしっかり結び天井に掛けたもので、三・四日もすると、とうもろこし天井ができたものだが、これで一作食糧の確保が終ることになるのだが、問題は、このようにして乾燥されてから食用に供されるまでがまた大変な労働があるのである。

（つづく）

# 文化協会クラブ紹介

## 民謡クラブ

諸塚の民謡会は、宮崎県民謡会に所属していますが、現在の会員は約二〇名です。

毎年一回、練習の成果を試すテストが行われて、初伝から中伝、奥伝、皆伝、総伝、準師範、師範と、七段階に分けて昇級する仕組みになっています。現在、諸塚民謡会には、準師範が三人、その他、総伝、皆伝等それぞれ免許状を受けているが、このテストは本人の自由で、必ずしも受けなくてもよいわけですが、しかし、受けることによって努力もし、上達するようです。

日本民謡会にも所属することができ、この会は年令別のコンクールが行われ、勝ち抜いてゆけば、東九州大会、九州大会、全国大会まで出場できることになっています。諸塚からは、九州大会まで出場しています。

民謡会で当初練習するのは、県内民謡の刈干切唄や、木挽唄ひえ搗節などです。そしてしだいに県外民謡の練習に移ってゆきますが、基本を習得すれば上達も早いわけで、少しでも関心のある方は、入会を待っています。

今後は諸塚に伝承されている民謡の祝い唄や、茶もみ唄、駄賃つけ唄などもできるだけ練習普及するよう努力したいと思います。先生は今のところ日向から毎月二回程度みえています。三味線の先生でもあります。

祝いの座敷などでも、すぐ唄えるようにしたいものです。希望のある方は遠慮なくお申し出ください。七ツ山の小原井地区でも開いています。

尚、役員は次の通りです。

会長　尾形森衛
副会長　藤岡福衛
〃　西田真悟
書記会計　吉田美智子
七ツ山会長　甲斐安正

# 詠草（兼題・畑）

諸塚短歌会

つくづくぼうし鳴く山畑に畝作り今年蒔りと大根種蒔く　岩倉つや

日照り続く庭の畑に水撒けば芋の蕾玉ころげて落ちぬ

出穂揃ふ峡の稲田はさやさやと葉擦れの音にゆゆく夏思ふ

山々に車道抜けどこの径は音には遠き思ひ出のあり　小川しげの

女郎花すすきも添えて採りて来る彼岸近づく畑の畦り

後追いてこほろぎ鳴ける早朝行けば稲穂の香はのかに流る

夕顔の花の命は短かきに今宵も十八輪目白に咲けり　中本幸子

葡萄狩り広き高につぶらなる実の匂ひたち風吹きわたる

遊覧船行き交う人の歌声に故里民謡なつかしくひびく

何時しかに夏もすぎゆき草山に秋のただよい果落ちる音　横口錦司

業園に妻の教はる師の多く食卓脳はすわが寓の四季

たはやすく禁煙の誓破りみて己に気儲な理由をくだす

幾ばくまわり畠畝散らす牛の子の気持は判る一天の秋

抓びえるて畑指差す妻の点に許せと慣す青き虫）つ　森本喜平

一ツ葉の港に走る砂波堤稲穂高き港宮崎　黒木圭子

出航の港に朗々重なりて名残りのテープに涙光れり

夜遅いてこほろぎ鳴ける早朝行けば稲穂の香はのかに流る

朝まだき港の船の軌る音人影しげく声の高らか　竹内愛子

山畑の唐辛に命をつなぎたるわが青春の吉き日の眼つ

立秋に三割引きの札下るブラウス選ぶ暑日の午后

玉の汗したたらせつつ初老ふたり挟き畠に秋茶作る

辛塊りて汗の目にしむ顔洗ひ冷たき水を蛇口より呑む

夏季休暇の子等発ちゆくは寂なりと思へど静もる茶の間はさびし

飛び結きてガス栓閉めてテレビつけ深夜の地震速報見つむ

◎第四十一回「冷」　◎幕本喜平さんの鉢草が先月分と入れ違いになりましたことをお詫び致します。　塚原　横口錦司

# 誕生おめでとう（届出順）

| 出生児 | 届出人 | 続柄 | 誕生日 | 住所 |
|---|---|---|---|---|
| 雄一郎 | 工藤誓司 | 長男 | 八月二十日 | 松の平 |
| 智美 | 森田英治 | 長女 | 九月二十日 | 立岩 |
| 優作 | 小田初治郎 | 長男 | 九月十六日 | 松の平 |
| 正道 | 甲斐敏昭 | 長男 | 九月二十五日 | 七ツ山 |
| ゆかり | 甲斐長生 | 二女 | 九月二十二日 | 飯干 |
| 恵 | 甲斐信一 | 長女 | 九月二十五日 | 川内 |

# おくやみ

| 死亡者 | 年令 | 届出人 | 続柄 | 死亡日 | 住所 |
|---|---|---|---|---|---|
| 裕士 | 二一 | 甲斐一二 | 長男 | 九月十八日 | 七ツ山 |
| 義潔 | 七三 | 黒木惣司 | 父 | 九月二十七日 | 家代 |
| 泰一 | 五八 | 藤岡ハマ子 | 夫 | 十月一日 | 飯干 |
| 一 | 二一 | 菊池忍 | 三男 | 十月十一日 | 荒谷 |